

おおず 市議会だより

2013
No. 37

平成 25 年 8 月 15 日 発行

●発行 大洲市議会 〒 795-8601 愛媛県大洲市大洲 690 番地の 1 ☎ 0893-24-1730



海開き（長浜海水浴場）

25日 本会議（委員長報告・質疑・
討論・表決、閉会）

20日 産業建設委員会

19日 厚生文教委員会

19日 総務企画委員会

委員会付託）

18日 本会議（質疑・質問・

17日 本会議（質疑・質問）

11日 本会議（開会、提案説明）

（6月）

6月定例会の日程

… 目次 …

2面～3面 6月定例会の概要

4面～8面 質疑・質問
議会改革調査特別委員会

9面～10面 常任委員会審査
議会日誌

9月8日（日）
大洲市議会議員選挙投票日



議会だよりは環境に配慮し、再生紙及び大豆インキを使用しています。



平成 25 年 6 月 定例会

一般会計補正予算 歳出の主な事業

(単位：千円)

総務費

- 離島航路運営補助金……………6,941
(欠損額の国庫補助残に対しての補助金(☞P9))
- コミュニティ助成事業費補助金……………6,000
(祭り用具・防災機材整備(☞P9))

民生費

- 介護基盤緊急整備等事業費補助金……………69,108
(グループホーム整備に対する補助)
- 保育所バス管理運行経費……………3,298
(民間業者委託による事業費調整(☞P9))

衛生費

- 循環器系救急病院運営事業費補助金……………780

農林水産業費

- 6次産業化産地ステップアップ事業費補助金……………6,827
(新需要対応産地生産安定事業・6次産業化商品開発支援事業)
- 地産地消拠点施設設備強化支援事業費補助金……………1,680
(給水能力の機能強化(☞P10))
- 鳥獣被害防止緊急捕獲等対策事業費補助金……………18,148

土木費

- ダム対策費一般経費……………1,092
- 公園施設長寿命化計画策定業務委託料……………6,720

消防費

- 大洲地区広域消防事務組合負担金……………71,113
(消防本部庁舎耐震改修費)

教育費

- 小学校スクールバス管理運行経費……………4,418
(民間業者委託による事業費調整(☞P9))
- 中学校スクールバス管理運行経費……………5,163
(民間業者委託による事業費調整(☞P9))

概要

平成25年第3回定例会を6月11日から6月25日までの15日間の会期で開きました。

今定例会では、市長から一般会計など各会計補正予算のほか、条例改正、人事案件など、合計18件の議案が提出されました。

また、17日、18日の2日間にわたり8人の議員が登壇し、全議案に対する質疑と市政全般にわたる質問を行いました。

そして、各常任委員会の審査を経て、最終日には採決が行われ、全議案を原案のとおり可決(承認・同意)しました。

(詳細は次ページ以降)

表彰 感謝状



(敬称略)

◆全国市議会議長会表彰・感謝状

〔一般表彰〕

- | | | |
|-----------|----|----|
| 議員在職15年以上 | 岡 | 孝志 |
| 議員在職10年以上 | 水本 | 保 |
| 議員在職10年以上 | 押田 | 憲一 |
| 議員在職10年以上 | 村上 | 常雄 |
| 議員在職10年以上 | 梶田 | 和美 |

〔感謝状〕

- | | | |
|-----------|----|----|
| 産業経済委員会委員 | 吉岡 | 猛 |
| 産業経済委員会委員 | 後藤 | 武薫 |

◆四国市議会議長会表彰

〔特別表彰〕

- | | | |
|-----------|----|----|
| 議員在職24年以上 | 山下 | 勝利 |
| 議員在職12年以上 | 宮本 | 増憲 |

◆愛媛県市議会議長会感謝状

- | | | |
|---------|----|----|
| 前市議会議長 | 後藤 | 武薫 |
| 前市議会副議長 | 山本 | 光明 |

◆ 議 案

番 号	件 名	結 果
議案 6 2	平成 2 5 年度大洲市一般会計補正予算（第 1 号）	原案可決
議案 6 3	平成 2 5 年度大洲市国民健康保険特別会計補正予算（第 1 号）	原案可決
議案 6 4	平成 2 5 年度大洲市国民健康保険診療所特別会計補正予算（第 1 号）	原案可決
議案 6 5	平成 2 5 年度大洲市後期高齢者医療特別会計補正予算（第 1 号）	原案可決
議案 6 6	平成 2 5 年度大洲市介護保険特別会計補正予算（第 1 号）	原案可決
議案 6 7	平成 2 5 年度大洲市簡易水道事業特別会計補正予算（第 1 号）	原案可決
議案 6 8	平成 2 5 年度大洲市港湾施設事業特別会計補正予算（第 1 号）	原案可決
議案 6 9	平成 2 5 年度大洲市農業集落排水事業特別会計補正予算（第 1 号）	原案可決
議案 7 0	平成 2 5 年度大洲市公共下水道事業特別会計補正予算（第 1 号）	原案可決
議案 7 1	平成 2 5 年度大洲市水道事業会計補正予算（第 1 号）	原案可決
議案 7 2	平成 2 5 年度大洲市病院事業会計補正予算（第 1 号）	原案可決
議案 7 3	大洲市職員の給与に関する条例等の一部改正について	原案可決
議案 7 4	大洲市営住宅条例の一部改正について	原案可決
議案 7 5	指定管理者の指定について（大洲家族旅行村）	原案可決
議案 7 6	市道の路線変更について	原案可決
議案 7 7	専決処分した事件の報告並びに承認を求めることについて 専決第 2 号 大洲市税条例の一部改正について 専決第 3 号 大洲市国民健康保険税条例の一部改正について 専決第 4 号 平成 2 5 年度大洲市住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算（第 1 号）	承 認
議案 7 8	大洲市の市長等及び職員の給与の臨時特例に関する条例の制定について	原案可決
議案 7 9	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	同 意

◆ 請 願

番 号	件 名	結 果
請願 2 8	「生活保護基準の引き下げはしないこと」の意見書提出を国に求める請願書	不 採 択

◆ 報 告

番 号	件 名	結 果
報告 2	繰越明許費繰越計算書について	受 理
報告 3	繰越明許費繰越計算書について	受 理
報告 4	繰越計算書について	受 理
報告 5	繰越計算書について	受 理
報告 6	大洲市土地開発公社の経営状況を説明する書類の提出について	受 理



議会を傍聴しませんか
 議会開会中は、市役所庁舎5階傍聴席で本会議を傍聴できます。お気軽にお越しください。

人事案件（敬称略）

◆ 人権擁護委員

上田 弘（若 宮）

山本 康幸（喜多山）

任期 平成 25 年 10 月 1 日

平成 28 年 9 月 30 日

市政を チェック



6月定例会

疑問・質問



梅木良照
議員

- ① 大洲市づくり
- ② 情報管理
- ③ 訴訟問題
- ④ 山鳥坂ダム進捗状況
- ⑤ 林業振興



村上常雄
議員

- ① 観光のまちづくり
- ② 災害への備え
- ③ 地域公共交通対策
- ④ 美しい自然の保全
- ⑤ 各種団体の育成



福積章男
議員

- ① 洪水調整効果
- ② 市道の整備及びネーミング
- ③ 環境問題



宇都宮宗康
議員

- ① 非正規職員の待遇改善
- ② 幼稚園における3年保育の実施
- ③ 大洲市政における営業活動
- ④ 憲法96条改正論議
- ⑤ う船・屋形船の船だまり



柘田和美
議員

- ① 市民の健康
- ② 子育て支援
- ③ 教育環境
- ④ 防災・減災対策



武田雅司
議員

- ① 「アベノミクス」に対する市長の見解
- ② 公共施設とインフラの老朽化対策
- ③ 職員提案制度と成果主義
- ④ 循環バス「ぐるりんおおず」
- ⑤ 補助金対象のシルバー人材センター
- ⑥ 介護保険制度と24時間地域巡回型サービス



大野立志
議員

- ① 地域防災
- ② 地域経済
- ③ 請負業者選定
- ④ 2017年愛媛国体



梅木加津子
議員

- ① 山鳥坂ダム問題
- ② 大洲市環境センター
- ③ 子育て支援とスクールバスの民間委託
- ④ 国保税の引き下げ
- ⑤ 地域の元気臨時交付金の活用
- ⑥ 体育協会の監査

各種団体の育成

問 財政状況も落ちつき始めた今、必要な団体への支援のあり方を再検討する考えはありませんか。

答 各地域のコミュニティ団体を初め、各種団体の皆様方の活動については、少子・高齢化、過疎化が進む中において重要な役割を担っていただいています。各種団体等の育成については、市としても重要な課題であると捉えており、運営面、また助成金、補助金による財政支援等により、十分とは言えませんが側面からのお手伝いをさせてい

ただいています。各種団体への補助金を含めた支援、育成のあり方の全体的な見直しについては、平成27年度から5年度間の第3期の行政改革大綱等を策定する予定としていますので、その中で前回の補助金の見直しと同じように市民の有識者で組織する大洲市補助金等審査会などの御意見を踏まえ、財政状況を勘案しながら検討していきたいと考えています。

なお、真に必要な団体、個々の事案については、これまでにも所管課の考えも聞きながら、状況に応じ再検討させていただく考えです。また、見直しに当たっては、今後のまちづくりや地域自治を進めていく上において、各種団体の存在とその活動は欠かすことはできないことから、それぞれの活動に支障が生じることのないよう、配慮していきたいと考えています。

シイタケ生産振興

問 生産者の販売価格は生産原価を下回る状況で



あり、何らかの対策を講ずるべきではないですか。

答 当市では、生産者団体からの要望を受け、従来から行っている種駒に対する一部助成を今年度から3カ年間引き続き実施するほか、生産者と消費者の交流を図り、消費拡大につなげていく取り組みである大洲しいたけフェスタに対しても支援を行っていくことにしています。

また、肱川流域林業活性化センターが実施する乾しシイタケを使った料理講習会の開催に共同して取り組みとともに、乾しシイタケを使用した新しい料理の創作や加工品の開発を行い、レシピ集などを活用したPR活動を市内外にも行いながら販路拡大につなげたいと考えています。さらに、地元産食材の利用を推進している学校給食への利用拡大については、生産者連絡協議会とも連携し、市内はもとより県内、県外の小・中学校にも働きかけ、また良質の原木乾しシイタケだけを厳選しブランド化した「味楽来しいたけ」についても、大都市圏への情報発

しいたけのほだ木



信などにより、一層の販路拡大に取り組んでいきたいと考えています。

なお、生産加工施設整備などに対する支援措置については、愛媛県が制度化しており、原木の伐採やほだ木、乾燥機などの購入に対する助成に加え、今年度から運搬車購入に対する補助金も交付されるため、関係機関と連携し制度の活用を推進していきたいと考えています。

ファミリーサポート事業

問 事業内容の啓発にどのように取り組んでいますか。

また、利用状況はどうなっていますか。

答 市民の皆様への周知については、広報「大洲」3月号での事業紹介及び3月にパンフレットで各戸回覧を行うとともに、利用会員として予想される各幼稚園、保育所の保護者、また小学校PTAの皆様の説明をしました。現在は、社会福祉協議会の各地区懇談会等に出席して順次説明を行っており、また事業周知ポスターを市内公共機関等へ掲示して会員の募集に努めています。

会員登録の状況については、6月11日現在、子育ての支援を受けた方30名、支援を行いたい方19名、さらに両方の活動が可能な方12名、合わせて61名が登録されています。利用状況については、専任のアドバイザーが会員と事前調整を行うことにより、20名の方に顔合わせや打ち合わせを行っていただき、12組がお互いの合意を得て、既に4月から児童館への送迎などに御利用いただいています。引き続きアドバイザーと会員、さらには会員

同士の信頼関係を大切にして、着実な支援体制となるよう努めていきたいと考えています。

今後ともより多くの皆様に御協力、御利用いただけるよう継続的に周知啓発活動を実施し、おおよそファミリー・サポート・センターを通じて地域の連携や子育ての支援の底上げが図られるよう努めていきたいと考えています。

ふるさと納税の推進

問 どのような営業活動を積極的に展開してきましたか。

また今後どういった方法で推進しますか。

答 現在、営業活動については、ふるさと納税のPRチラシを作成し市出身者等の会合での配布や、市ホームページを通じて県内外の方々に広く広報を行っています。また、東京や大阪の大都市圏において開催される大洲高校の同窓会、東京肱川会の総会や関東愛媛県人会に出席し、PR活動を行っています。

最近では、当市への新規寄附者の半数を超える方々が、当市に縁のないインターネットを通じてその取り組みに賛同いただいた方となっています。当市では、1万円以上御寄附をいただいた方には、いもたきセットや長浜ミカン詰め合わせなどの中から御希望の当市の特産品をお送りしていますが、これら特産品への興味などが今日のIT時代の中で寄附者拡大へ繋がったものと判断しています。また、寄附者とのつながりを大切にさせていただくためにも、広報「大洲」を送付するなど市の近況がわかる情報を届けています。

今後も、市出身者等の各種会合の中で、当市の近況報告やふるさと納税の説明をさせていただく機会があれば、積極的に足を運んでPR活動を行っていききたいと考えています。また、新たな営業活動の場を求めて、その他の県人会関係の会合への参加や東京事務所派遣の職員を通じた営業活動にも努めていきたいと考えています。

市道の愛称

問 市道に、市民が親しみやすい愛称をつける考えはないですか。

答 市内の徳森地区から大洲農業高等学校に向けての市道田口徳森線は、現在国道56号の代替もしくは通勤、通学など生活道路として、なくてはならない機能をなしている基幹的な道路です。

このような道路に愛称を定めることは、道路に親しみを持つていただくこと、地域が道路に愛称をつけることでコミュニケーション活動の活性化、そして市民だけでなく市外からの方々にも分かりやすいまちづくりにつながるものと考えています。

これまでには、街路事業により整備したJR大洲駅を起点とする道路を「ふれあい南通り」と命名し、広く市民に親しまれているところでは、田口徳森線など市内の幹線的な道路やまちづくりの観点から愛称を付すことが適当な路

線については、公募により名称を選考したいと考えています。主要な道路に愛称を定めるに当たっては、植樹、修景施設、歩道などの道路環境などを一体的に整備することによって道路に対する愛着や理解を深め、利用者にとってわかりやすい道路整備に努めたいと考えています。

鹿野川湖周辺整備計画

問 2017年のえひめ国体に向けた鹿野川湖の周辺整備をどのように考えていますか。

答 カヌー競技会場となる鹿野川ダム湖については、選手、監督、大会関係者のほか一般観覧者を含めると、1日当たり1,500人から2,000人程度の参加者が訪れると見込んでいます。

現時点では、左岸側に選手村や実施本部などを配置し、大会関係者を集約、右岸側に観覧席を設け一般観覧者を集約することでそれぞれの人の流れを分離し、

鹿野川湖



混乱を防ぐよう考えています。

駐車場については、風の博物館駐車場、大駄場ふれあい広場を利用するほか、ダム工事に伴う残土処理場を駐車場として利用させていただくことを国に要望していく考えです。

観覧場所については、右岸側の遊歩道約400メートルを利用することで考えていますが、湖面を見渡せる箇所が限られているほか、仮設スタンドや仮設トイレ、さらには物産販売所等の店頭を設置する必要もあるため、十分な面積が確保できていない状況です。このた

め、国体時の利用のほか、国体終了後の肱川地域振興の観点からも遊歩道の延長について国土交通省とも協議・検討していきたいと考えています。

当市では初めての国体開催となりますが、全国からお越しただく皆様を笑顔とおもてなしの心を持って温かくお迎えし、大洲市に来てよかったですと感じてもらえるよう知恵と工夫により魅力あふれる大会を目指したいと考えています。

循環バス「ぐるりんおおず」

問 循環バスの利用実績、運行に係る収支状況をどのように判断、理解して補助を行っていますか。

答 平成21年1月11日の運行開始から平成24年までの利用者の推移では、平成21年は3万5,561人で、1日平均97人、平成22年は5万8,033人で、1日平均159人、平成23年は7万1,553人で、1日平均196人、平成24年は7万4,896人で、1日平均205人という状

況であり、利用者は年々増加傾向になっていきます。

運行の収支差し引き額と補助金については、利用者が増加した平成24年の実績により収支状況を分析すると、現在の運賃水準では極端な利用者の増加が見込まれない限り、毎年400万円程度の赤字が見込まれるものと考えており、車両等が老朽化をした場合にはその維持更新費用が必要となるため赤字額は一層増加するものと考えています。

市民の交通手段として定着している「ぐるりんおおず」は、既になくてはならないバスとなっており、継

ぐるりんおおず



統的な運行体制を確立することは今後の公共交通施策を進めていく上で極めて重要であると考えています。

「ぐるりんおおず」の運行、特に車両に関しては、これまでバス事業者の経費負担によるところが大きく、健全経営と安定的かつ継続的な運用を行っていくためには、今後はこれらの費用を市において負担することが必要不可欠と考えており、補助金の算定や支出の方法等について見直しも視野に入れて検討を進めていきたいと考えています。

山鳥坂ダム及び県道の早期改良

問 山鳥坂ダム事業再開に伴う説明会の開催と生活道路の改修を早期に実施すべきではないですか。

答 山鳥坂ダム建設事業の再開に伴う住民説明会の実施については、ダム検証の過程、結果については予断なき検討により情報公開を基本に住民意見を聴く場の設置や、書面による意見受け付けなど十分な説明が行われてきていると考え

ており、ダムの必要性等について改めて説明の必要はないものと考えていますが、ダムの建設に当たって、用地提供など関係される皆様への周知については、必要に応じて順次実施されていると聞いています。

県道小田河辺大洲線は、地域の基幹道路でありながら長年未改良の状態となっており、水源地域の皆様はもとより、河辺地域の皆様にも大変な御不便をおかけしております。県道改良については、国土交通省山鳥坂ダム工事事務所では、今年度からつけかえ県道工事に伴う工事用道路の整備や

県道55号線



現県道の通行車両安全確保のための待避所設置など検討が進められています。基本的には生活道路として利用されている県道、市道の利便性の確保を行った後につけかえ県道の工事に着手されるものと考えており、市としては利用される住民の皆さんの安全を第一に早期着工、早期完成となるよう機会あるごとに要望を行っていきたくと考えています。

自主防災組織活動への支援体制

問 それぞれの地域の実情に合った自主防災組織活動への支援体制をどのように考えていますか。

答 大規模災害時には公助に限界があることから自助、共助の精神に基づく自主防災組織の活動が重要となってきました。市では消防機関と連携し市町村合併後の重点的な取り組みとして各地区における自主防災組織の結成を呼びかけ市民の皆様の御理解により、市内全地区での結成が実現した後組織運営とともに考え、防災に関するさまざま

な情報提供に努めながら訓練、講習等での指導、助言を行ってまいりました。各地区で行われる日頃の防災活動も徐々に定着し、昨年度も全ての地区で主体的な訓練、講習など90件が実施されており、合わせて約4,000人の市民の皆様が参加されています。

市では、それぞれの自主防災組織でこうした主体的な取り組みが継続できるよう、機会あるごとに各地区への呼びかけを行うとともに、平成24年度からは危機管理課に防災専門官を配置し、きめ細かな指導、助言を行うことができるよう支援体制をさらに強化していきます。風水害、地震、津波などの自然災害や原子力災害などさまざまな事態に備え、まずは家庭や地域でできる身近な取り組みを行うことが私たち一人一人の命を守ることに繋がってきます。

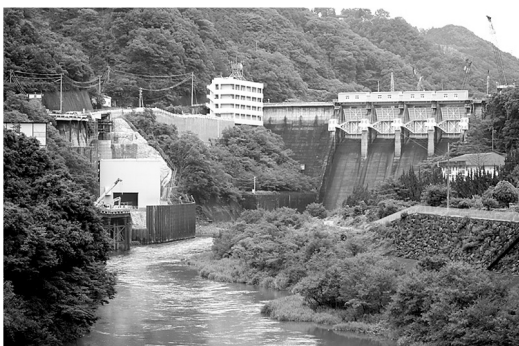
今後とも、情報伝達、避難行動、救命、初期消火などさまざまな活動メニューを提供し自主防災組織の取り組みを支援していきたく考えています。

鹿野川ダム改造の効果

問 鹿野川ダム改造事業の進捗状況と完了後の治水効果をどのように考えていますか。

答 鹿野川ダム改造事業は、総事業費420億円、平成27年度末の完成を目指し整備が進められています。改造事業の柱の一つであるトンネル洪水吐工事については、平成24年1月から本体工事に着手され、現在24時間体制で下流側からトンネル掘削が行われているところであり、本年度中には概ねトンネル部の掘削は完了

鹿野川ダム洪水吐き工事



了する見込みと聞いています。この改造事業が完了すると洪水調節容量が現在の約1・4倍に増強されることになり、全川的な水位低減効果が期待される場所です。

また、仮に改造後の洪水調節容量において現在の運用により洪水調節をした場合、国では平成23年に発生した台風15号による洪水被害においては、肱川橋大洲第2地点の水位を約30センチ低下させることができるほか、全川的に効果が推測されています。

このため、流域に暮らす市民の安全・安心の確保のためにも、一日も早く鹿野川ダム改造事業が完了するように市としても国、県と連携して事業を推進していきたいと考えています。

議会改革調査特別委員会の取り組み

当委員会は、議会の組織及び運営の状況を再検証し、議会のさらなる機能発揮に向けて、自ら改革を進め、活性化を図る目的で、平成23年12月定例会で設置されました。

これまでに、議員定数の削減や、例規集の電子化を初め、さまざまな項目を調査・検討してきました。今回更なる改革として、開かれた議会、住民参加の議会を目指し、先進地へ視察を行いました。視察を行った、各市議会は、議会改革の先進地であり、議会の身を削る改革はもとより、市民目線の開かれた議会を目指し、さまざまな取り組みを実施されていました。

中でも、議会に関わる基本的な事項を定めた議会基本条例については、3市議会が制定済みで、1市議会が制定間近となっております。各市議会とも、議会基本条例に、住民報告会などを年に数回開くと定めており、制定後は、定期的に、議会の報告を行われたとのことでした。

また、本会議における質疑・質問について、一つの質問に対して、即座に一つの答えを述べる一問一答方式の導入や、本会議及び委員会をインターネットで中継・録画配信されていました。

今回の視察を終えて、当委員会では、開かれた議会、住民参加の議会が重要であると再認識し、議会基本条例の制定、本会議での一問一答方式の導入、インターネット中継の配信等、さらに検討することとしております。

◆◆先進地視察の様子◆◆



加西市議会



生駒市議会



天理市議会



亀岡市議会



中継用カメラを設置した議場



インターネット中継用カメラ

委員会審査

6月定例会で常任委員会に付託された議案について審査を行いました。

総務企画委員会

委員長 上田 栄一

◆自主防災組織の機材整備について

問 現在の要望状況、および今後の統一的な助成のあり方はどうなっているのか。

答 現在、7団体から同様の要望が出されており、毎年1団体のペースで助成を受けている状況です。

昨年度から各地域の自主防災組織に対し、活動費のほか、防災資機材の整備にも活用できる活動補助金を交付しています。さらに、今後、防災意識の高まりと共に、様々な方法で新しい支援に取り組んでいく考えです。

◆離島航路運営補助金について

問 欠損金と市の赤字補填の状況はどうなっているのか。

青島との定期連絡船「あおしま」



答 昨年の欠損金は約3,530万円であり、国の補助を受け、残りの市の負担は約410万円です。

またこの負担に対して8割が特別交付税に参入されることから、赤字補填の大部分が国・県からの支援をいただくこととなります。

問 新しい船が進水するが、イベント等でも活用する仕組みを整えているのか。

答 現在、鉄道運輸機構と青島海運が共同で新造

船建設を進めています。定期航路の範囲の中でイベント等の利用は可能であり、その際には綿密な事業計画を行い、収益性を確保した運営を行うよう、イベントの実施主体と十分な協議を行った上で利用したいと考えています。

厚生文教委員会

委員長 安川 哲生

◆スクールバス・保育所バス運行管理業務委託について

問 事業者の応募要件は。また、選定委員に専門的知識を有する者を採用する考えはないか。

答 応募要件は、県内に本店・支店・営業所等を置き、法人格を有するなど募集要領で定めています。

また、選定審査会委員については、職員で審査をさせていただき、その上で会計士や運輸局職員等の外部有識者からの意見を求めることを考えています。

問 民間事業者へ委託すること、適切な運行管理は確実に図られるのか。

答 民間事業者へ委託することにより、専門的な知識を持った業務管理や運行管理責任者による対面での運転手の体調管理等が行われ、より安全で安心な運行が確保されると考えています。

また、教育委員会としても、事業者において業務の点検や改善が的確に実施できているか把握するため、引き続きモニタリングを行いたいと考えています。

意見 スクールバス等の運行管理業務を民間事業者に委託することについては賛成するが、園児・児童・生徒の安全・安心を第一に考え、業者選定には慎重な姿勢で臨むとともに、民間事業者に任せきりにするのではなく、評価と検証を十分に行い、責任を持って指導・監督を徹底していただき、適切な運行管理に努めるべきである。

◆学校施設整備手法検討業務について

問 整備手法の概要はどうなっているのか。

答 平成23年度に策定されたこの計画は、期間を31年度までの9年間とし、

改築や耐震補強・大規模改造工事を実施しようとするもので、概ね3年ごとに見直しを行うこととしていますが、事業計画を推進する中で、当初計画より実施が遅れている事業が発生しています。また、耐震補強については地震特措法による交付金交付割合の嵩上措置が27年度末を持って期間が満了となるなどの課題が生じてきています。

このため、事業開始から3年目を迎え、課題を踏まえたうえで、実施計画の見直しに合わせて事業の進捗状況や財源確保、民間活力を導入した事業方式による体制等を考慮して、整備手法の検討を行い、今後の施設整備の推進を図りたいと考えています。

産業建設委員会

委員長 西村 豊

◆地産地消拠点施設設備強化支援事業について

問 当初の計画における給水能力及び来場者数の推移及び売上高の詳細はどうなっているのか。



当初の計画については、年間43万人の来場者を見込んでいました。しかし、3年目には、年間71万人が来場され、年々増加傾向があります。このため、当初の計画の給水能力では対応が難しくなっており、増加していく来場者に対応できる給水能力が必要となっています。

また、売り上げについても、初年度が年間6億7千万円、2年目が8億円、3年目が9億3千万円と順調に増加しています。

◆指定管理者の指定について

問 大洲家族旅行村の経営状況はどうなっているのか。

答 昨年度の状況は、収入が約1,316万円、支出が約1,300万円であり、黒字経営となっています。利用者数についても、平成22年度が3,062人で、平成24年度が3,348人となっております。徐々にはありますが、利用者も年々増えてきています。今後も、イベント等を行い、利用者の増加を図っていきたいと考えています。

問 次回以降の指定方針はどうか。

答 大洲市の施設において、市が施設を管理するために第三セクターを作っている場合は、公募によらず指定をしているが、株式会社おおよす家族村については、民間事業者であるため、平成27年3月31日の指定期間終了時には、広く公募を行い、競争性を確保しながら、選定審査会を経て指定業者の選定をする方針です。

議会日誌

≪3月≫

26日・八幡浜・大洲地区広域市町村圏組合議会
27日・一般国道441号北



愛媛県市議会観光振興議員連盟 広域観光推進研修会 (坂の上の雲ミュージアム)

- 只バイパス開通式典
- 大洲喜多特別養護老人ホーム事務組合議会定例会
- 大洲・喜多衛生事務組合議会定例会
- 大洲地区広域消防事務組合議会定例会
- ≪4月≫
- 10日・愛媛県市議会議長会 監事会・春季定期総会 (伊予市)
- 愛媛県市議会観光振興議員連盟監事会(伊予市)
- 18日・議会改革調査特別委員会
- 24日・四国市議会議長会定期総会 (高松市)
- 鳴門市議会行政視察 来市
- ≪5月≫
- 8日・全国自治体病院経営都市議会協議会理事
- 会・定期総会 (東京都)
- 12日・静岡市議会行政視察 来市
- 13日・議会運営委員会
- 14~16日・議会改革調査特別委員会行政視察 (加西市、生駒市、天理市、亀岡市)
- 17日・四国西南サミット(宿毛市)
- 22日・全国市議会議長会定期総会 (東京都)
- 岩手県一関市議会行政視察来市
- 27日・議会改革調査特別委員会
- 29日・市議会議員共済会代議員会 (東京都)
- ≪6月≫
- 3日・国道197号(大洲・須崎間) 愛媛県側整備促進期成同盟会定期総会
- 国道441号(大洲・鬼北間) 愛媛県側整備促進期成同盟会定期総会
- 愛媛県四国縦貫・横断自動車道建設促進協議会理事会・総会 (伊予市)
- 4日・議会運営委員会
- 11~25日・第3回定例会

編集後記

夏本番。暑い日が続いています。さんさんと降り注ぐ日差しに、夏場の鬱陶気を味わいながらも、暑さには勝てず、つい暑い日陰へと移動してしまいます。

熱中症、脱水症等の対策には、水分補給が欠かせません。外出時だけでなく、屋内でも水分をしっかりと取って、この夏を乗り切りたいものです。皆様も体調管理には、くれぐれもお気を付けてください。

さて、6月定例会も終わり、早いもので、平成25年も半年が過ぎました。今後も、大洲市の発展のため、皆様のご意見をいただきながら、議会の責務を果たしてまいりますので、よろしくお願いたします。



鹿野川園地のおじさい